

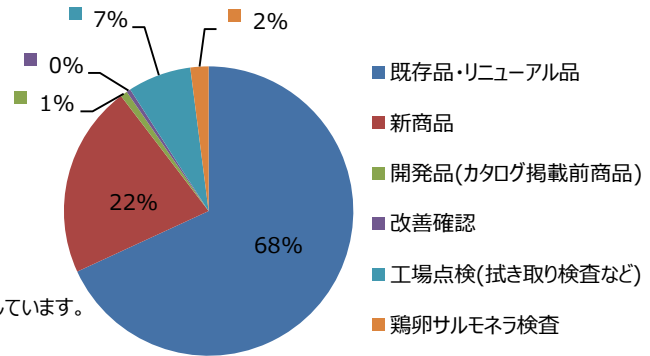
# 2019年度検査結果(2019年7月更新・累計)

## 微生物検査

一般生菌、大腸菌群、大腸菌、真菌等の衛生指標菌および、黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオ、サルモネラ、セレウス等の食中毒菌を検査し、食品の腐敗・変敗、食中毒を防止するとともに、食品製造現場における衛生管理向上に役立てます。

検査対象品	検体数
既存品・リニューアル品	2,084
新商品	658
開発品(カタログ掲載前商品)	24
改善確認	14
工場点検(拭き取り検査など)	217
鶏卵サルモネラ検査	62
<b>合計</b>	<b>3,059</b>

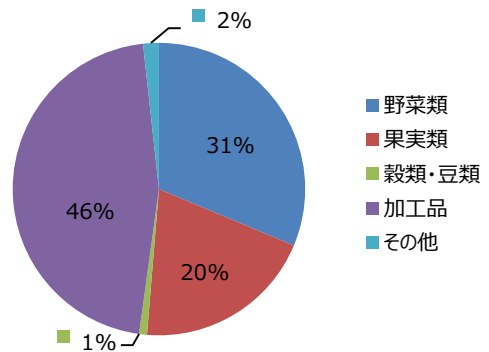
※鶏卵サルモネラ検査は、卵殻と卵内容について外部委託機関にて実施しています。年に4回、全産地・全種類のたまごを対象に行っています。



## 残留薬剤検査

人や環境に対する毒性の強い農薬等の化学物質403成分について、一斉分析を行っています。産地での使用状況、残留事例、農薬の流通量等、その他さまざまな情報を参考に、検査する薬剤を決めています。

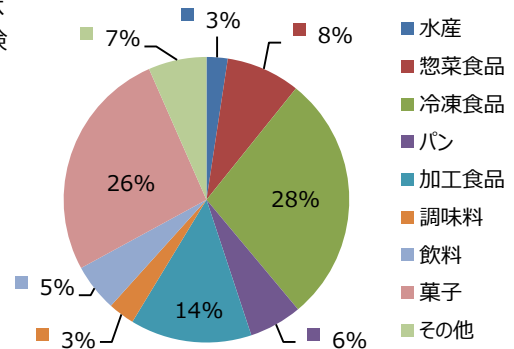
検査分類	検体数	検査成分数
産直品		
野菜類	36	13,974
果実類	23	8,987
穀類・豆類	1	391
加工品	53	20,818
その他	2	794
<b>合計</b>	<b>115</b>	<b>44,964</b>



## アレルギー検査

加工品について、食物アレルギーを引き起こす食品のうち、症例が多いまたは症状が重篤な卵・乳・小麦・そば・落花生・甲殻類(えび・かに)が含まれているかを検査し、原材料表示およびコンタミ表示の適正確認をしています。

検査商品分類	検体数	検査商品分類	検体数
水産	4	調味料	5
惣菜食品	14	飲料	9
冷凍食品	47	菓子	44
パン	10	その他	11
加工食品	23		
<b>合計</b>			<b>167</b>



## その他の検査

	鶏卵	ヒスタミン	食品添加物	動物薬	一般成分	米品種	GMO	合計
検体数	123	14	0	0	0	4	1	142
検査項目数	615	14	0	0	0	4	1	634

※鶏卵検査、ヒスタミン検査は商品検査センターにて検査を実施。その他の検査は外部委託機関にて検査を実施。

- **鶏卵検査**：卵重、卵殻強度、卵殻厚、卵黄色、鮮度の指標となるハウユニット(卵白高)を測定することで品質管理を行っています。1ヶ月に1度の頻度で全産地・全種類のたまごを対象に行っています。
- **ヒスタミン検査**：生魚(鮮魚、冷凍魚肉)や、その加工品のヒスタミン濃度を測定して品質管理を行っています。夏場を中心にサバ、カジキ、マグロ等について実施しています。
- **食品添加物検査**：保存料、発色剤について使用がないかを確認します。ハム・ソーセージ類について実施しています。
- **動物薬検査**：動物用医薬品や飼料添加物について残留がないかを確認します。たまご・肉類について実施しています。
- **一般成分検査**：油脂の劣化を評価するために指標となる「酸価」「過酸化物価」を測定します。油脂で処理した食品や油脂分を多く含む食品(主に菓子類)について実施しています。
- **米品種確認検査(米DNA検査)**：米について、他品種の混入の有無があるかの定性検査を行い、表示の適正確認を実施しています。
- **GMO検査(遺伝子組換え体含有検査)**：遺伝子組換え作物の混入の有無を検査します。主に大豆、菜種を原料とする加工品について実施しています。